



うらぐち なつみ
浦口 夏歌 ちゃん (鶺鴒)

令和3年6月12日生まれ
耕平さん & 友恵さんの長女

保育園が大好きで先生のまねをよくしています。さらに、料理が大好きで、よくお手伝いをしてれています。お兄ちゃん2人より活発でワガママですが、このまま健康で大きくなってね。いつも家の中に癒しをありがとう！♡お母さんから



むかい いづみ
向 彩珠 ちゃん (鶺鴒)

令和3年6月7日生まれ
克弥 & 美紀さんの次女

いつも元気いっぱいにお歌やお喋りをして楽しませてくれるはず。絵本や動物、色んなことに興味を持って毎日新しい発見をしてワクワクしています。たくさんの癒しと幸せをありがとう！これからも元気に育ってね！彩珠ちゃん大好き♡お母さんから

【募集】満3歳の誕生日を迎える子ども(令和3年8・9月生まれ)を募集します。ご希望の方は、広報係(☎33-0334)までご連絡ください。申込期限は6月28日(金)。



やまもと まきこ
山本 真己さん(鮎田・20歳)

車での旅行にハマっています!!

◆お仕事は？

今年の4月から新宮市社会福祉協議会に勤めています。主に、共同募金などの募金活動と、福祉車両や車いすの貸し出しに関する仕事をしています。まだ覚えることが多く大変ですが、人々の暮らしのためにがんばっていきます。

◆趣味は？

車でのプチ旅行です。最近だと四日市市に行き、コンビニナーの夜景を見たり、湯守座という温泉に行ったりしました。

◆好きなタイプは？

一緒にいて気楽で、楽しい人が好きです。

◆今の目標は？

今後の目標はお金を貯めて、性能のよいパソコンを購入したいです。今使っているパソコンが仕事やゲームをするのにも上手く動作しないことがあるので。

◆町ごとについて

紀宝町には自然が多くて、世界遺産が近くにたくさんあるので、観光するにはうってつけの町だと思います。

予想外な紀宝町での生活

米中 宏志さん(鮎田)



自然豊かな土地で暮らしたい。その願いを叶えるべく候補に上がった土地は複数ありましたが、紀宝町に興味を持った理由として町の名前がありました。「紀宝町」字面が美しいこの町はどんな土地なんだろう？最初はそんなキツカ

ケでしたが、気づけば紀宝町役場に移住体験の問い合わせをしていました。大雨の中での移住体験でしたが、海も山も川も滝もあり、想像よりも自然が豊かで素敵な町という印象でした。出会った方々の温かい心にも触れ「新生活を始

PROFILE

よねなか こうじさん
多趣味で、充実とした日々を過ごされている米中さん。「自然が豊かで、とても住み心地の良い町です」と話していました。



めるなら「こしかない！」と即決するほど感動しました。移住後は新たな出会いもたくさんあり、登山や沢歩き、YouTubeでの動画投稿などの新しい趣味も増えました。たださえ多趣味なのですが、いよいよ一日24時間では全然足りない状態に・・・笑。縁があり興味深く学びが得られる仕事にも出会い、昼と夜と掛け持ちしながらも充実した毎日を送っています。東京では競うように生活してきました。少し燃え尽きた感があり、移住したら大自然の中でのんびり生活したい！なんて思っていたのに、紀宝町に移住してからは新しい興味ごとが尽きることなく生活に変化をもたらす刺激を与えてくれていきます。紀宝町での生活は「のんびり」とは程遠く、東京にいたと

きより忙しいです。ですが、紀宝町での「忙しい」は質がまったく違います。都会での忙しさは競争社会における歯車のような周囲の影響下による忙しさが多かったです。紀宝町での忙しさは、そのほとんどが自分主体の忙しさだと感じています。自分がしたいことをするために時間を消費できている、そういう忙しさなのでストレスは全く毎日が充実しています。そんな贅沢で素敵な時間を過ごすことのできる紀宝町。今後どのような出会いと興味ごとを与えてくれるのか、この先の紀宝町での生活が楽しみで仕方ありません。7月号は平尾井の森下香苗さんです。米中さんからは、「いつもお世話になっております。これからもよろしくお願いたします。」